

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和6年7月25日
タイトル	「浅瀬石川水の旅」
水土里レポーター名	水土里ネット板柳東部 事務局長 田中昌吾

令和6年6月17日（月）に青森県土地改良事業団体連合会、西北地域県民局などの関係機関のご協力のもと、板柳町立東小学校4年生7名、板柳町立小阿弥小学校4年生15名が参加した「浅瀬石川水の旅」を行いました。私たちが毎日のように目にしている田んぼや畑では、春の田植えから秋の稲刈りまで、たくさんの「水」を使い、お米や野菜を育てていますが、遠い昔から多くの人達の知恵や工夫によって長い間大切な「水」を上手く利用し、田んぼや畑が守られています。この「水の旅」は、そんな大切な「水」はいったいどこから来るのか？この謎を解明するため、私たちの住む地域に流れてくる「水」についてダムや頭首工などの施設を見学して勉強する旅です。

各学校での出発式を行い、元気にバスに乗車。2校合同でバス1台の旅になりました。バスの中では、「水の旅」に関するクイズを行いながら、最初の目的地である浅瀬石川ダムに向かいました。

浅瀬石川ダムでは、職員の方からダム内での注意事項を聞き、ヘルメットを装着後、ダム堤体内を実際に歩いて見学しました。ダム堤頂部では、ダムの役割や現在の貯水量などの説明を受け、なかでも今年は、雪が少なかったことからダムでも例年より貯水量が少ないとのことでした。次に、隣接する資料館に移動し、館内で3D立体映像を見てダムの役割や構造などを勉強し、その後、青森県土地改良事業団体連合会から紙芝居を用いて水循環システムをわかりやすく教えてもらい、子供達も真剣に聞いていました。

ダムの次は、浅瀬石川第1頭首工を見学。頭首工まではバスで行けないため、途中で下車し、川沿いの遊歩道を歩いて頭首工に向かいました。頭首工ではその役割や構造、「魚道」という魚が通るための道などについて教えてもらいました。

午後は樋の口浄水場を見学。川の水を取水した後にゴミなどを取り除くための薬品沈殿池という施設では、学校のプールのおいがしていました。次に、取り切れなかった小さな不純物を砂や、砂利の層できれいにろ過するための急速ろ過池という施設を見学しました。その後、実際に川の水を石や砂利などで作った簡易ろ過装置でろ過する実験を行い、日常の生活で使っている水を作る過程やしくみを学びました。

最後に、五幾形揚水機場を見学。揚水機場ではウォッチマンゲートやポンプ設備、除塵機の役割や構造などを勉強しました。

この旅で子どもたちは、講師の方から教えてもらったことをメモし、わからないことや疑問に思ったことを積極的に質問し、水循環について学びながら、「水の旅」を楽しんでいる様子でした。各小学校の校長先生も「身近にある水の大切さや、水は循環しているなどたくさんを知ることを知る貴重な体験になりました。」と、とても満足していました。



浅瀬石川ダムの見学①



浅瀬石川ダムの見学②



「水循環システム」について勉強



浅瀬石川第1頭首工を見学



樋の口浄水場を見学



五幾形揚水機場を見学